JR四国労組　青年女性会議ニュース
プラスアルファ
四国旅客鉄道労働組合 青年女性会議
〒760-0021
香川県高松市西の丸町11番9号
NTT：087-851-1378
JR：086-2597・2598
http://jrsu.jrsis.com/
発行責任者：笹岡　慎平　編集責任者：宮西　悠司
平成２９年１０月１日発行№３０３

ＪＲ連合青年・女性委員会

第２６回定期総会開催！！

ＪＲ連合青年･女性委員会第２６回定期総会が９月９日、大阪市内にて開催され、ＪＲ四国労組からも総会委員、傍聴者７名が参加しました。冒頭、すべての鉄道事故において亡くなられた方々に黙祷で哀悼の意を捧げた後、総会議長に阿瀬総会委員（ＪＲ西労組）と谷口総会委員（ＪＲ東海ユニオン）を選出し

スローガン　『仲間の環を広げ共に未来をきり拓こう！』

が提起され、ＪＲ連合青年・女性委員会の新倉議長（ＪＲ西労組）から安全・民主化完遂・政策課題の取り組みについて挨拶がありました。また来賓としてＪＲ連合の松岡会長・中山前青女担当部長・中村青女担当部長からも激励の挨拶を受けました。

その後、幹事会より一年間の経過と方針が提起され、次回のユースラリーを四国で開催すること等が満場一致で承認されました。（文・常任委員　河野）

JR連合ユースラリー7年ぶり四国で開催

質疑

質疑では、ＪＲ四国労組より本部青女・橋本事務長が発言し、「安全について」「政策課題について」のＪＲ四国における諸問題について訴えました。

安全、安定輸送の重要性
高速鉄道の必要性
について発言！！

役員選出

役員選出では、4 名が退任し、四国からは本部青女の笹岡議長が幹事に再任され、新たな幹事会体制を確認、総会アピールが読み上げられ、採択された後、新倉議長による団結ガンバローを行いました。

役　職	氏　名	所属単組
議　長	新倉　　実	Ｊ Ｒ 西 労 組
事務長	鈴木　大介	ＪＲ東海ユニオン
幹　事	三星　輝之	Ｊ Ｒ 北 労 組
	松本　良子	ＪＲ東海ユニオン
	西川　弘美	Ｊ Ｒ 西 労 組
	笹岡　慎平	ＪＲ四国労組
	松下　雄太	ＪＲ九州労組
	千葉　大樹	貨 物 鉄 産 労

交流も深めました

ＪＲ四国労組総会委員の発言内容（一部抜粋）

① 安全について

ＪＲ四国労組は、「安全・安定輸送の確保」が輸送業務の最重要課題であるとの認識に立ち、労働組合としてのチェック・提言機能を発揮しながら、「安全の確立」に向け日夜取り組んでいます。ＪＲ連合の安全指針にも触れられております「ヒューマンエラーは結果であり、原因ではない」との認識の基、事故後の対策等について、世代間を問わず職場で議論を重ね、その声を、経営協議会などの場で反映させるなど、労使で徹底した議論を行っており、今後もこの取り組みを継続させていきます。ＪＲ四国労組青年女性会議は、基本組織と連携し、安全の取り組みを第一義に取り組んでいることを報告させていただきます。

② 政策課題について

四国は二島特例、承継特例などの支援を受け何とか今日まで地域の鉄道を守っており、支援策なしでは経営の成り立たない極めて基盤の脆弱な会社です。そのような中、ＪＲ四国に対する税制特例措置が平成 29 年度から 5 年間延長されることとなりました。ＪＲ発足 30 年という節目を向かえ、経済や政治の情勢からすれば、非常に厳しい環境下での取り組みではありましたが、最重要政策課題としてＪＲ連合が取り組んだ、多岐にわたる政策要請行動のおかげもあり、現行制度のまま 5 年間の延長が決定されました。改めて、ＪＲ連合青年・女性委員会の皆様にも御礼を申し上げたいと思います。しかし、ＪＲ四国は他の会社のような高速鉄道による収益の柱がありません。四国の鉄道を維持するためには、高速化による鉄道需要の増加、収益の拡大が必要不可欠です。四国における鉄道高速化の実現には、引き続き地元における機運の醸成及び国への働きかけ等が重要となります。役員の皆様をはじめ、ＪＲ連合青年・女性委員会の皆様にも四国新幹線の必要性は十分認識していただいていると思いますが、ＪＲ四国労組青年女性会議としても、基本組織と連携し鉄道の抜本的高速化の必要性をあらゆる機会を通じて訴えていきますので、今後とも四国への高速鉄道導入に向けた取り組みにご理解・ご支援を宜しくお願いします。

プルタブ回収状況

	今回	第１回常任委員会からの合計
香川支部	２００ｇ	２００ｇ
愛媛支部	2,５００ｇ	2,５００ｇ
徳島支部	０ｇ	０ｇ
高知支部	1,０００ｇ	1,０００ｇ
本社支部	０ｇ	０ｇ
自動車支部	０ｇ	０ｇ
合計	３．７ｋｇ	３．７ｋｇ